

# 膣式子宮全摘出術を受けられる

様へ

パスコード:14003 世代:3

経過 月 日	入院日(手術前日) / /	手術当日 / /	術後1日目 / /	術後2日目 / /	術後3日目 / /	術後4日目 / /	術後5日目 / /	術後6日目 / /	術後7日目 退院日 月 日	退院後の診察 月 日	
<b>達成目標</b>	手術の必要性・処置の必要性が理解できる	ベッド上で体の向きを積極的に変えることができる	痛みを表現できる	歩行することができる	傷の痛みが自己にてコントロールできる		尿管が抜けた後、自尿が出る	尿意が自覚でき残尿が50mL以下である 退院後の生活の不安が軽減する	[退院基準] 創部の異常がない	療養生活が続けられる 出血や腹痛がない 発熱がない	
<b>治療・処置・検査 薬剤(点滴)</b>	採血 入院時検温	内診 検温(朝・手術前・手術後・適宜) 	採血 回診時に膣内のガーゼを抜きます 検温(朝・昼・夕) 毎日回診があります	検温(朝・昼・夕) 回診	検温(朝・夕) 回診	検温(朝・夕)	採血 検温(昼) 	内診 検温(昼)	検温(昼)	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p><b>退院後の療養生活上の留意点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>退院後二週間くらいは外出を避け、疲労を感じたら休みましょう。</li> <li>術後1ヶ月の健診を終えるまではシャワーにしてください。</li> <li>手術を受けたことで、排尿や排便に関係する神経が傷つき弱くなっている可能性があります。そのため、便秘や下痢、膀胱炎の予防に心がけましょう。</li> <li>性生活は退院後の初回受診までは控えていただき、医師の許可が出れば、行うことができます。</li> <li>出血、腹痛、むくみ、38度以上の発熱があるときには早めに連絡をいただき、必要な場合は医師の診察を受けていただきます。</li> </ul> </div>	
<b>食事</b>	お昼からです 午後10時以降は絶食です(飲水はできません)	絶飲・絶食です(手術の3時間前まで飲水できます) うがいはできます	朝から軟食が出来ます	普通食	朝より便を柔らかくする薬を飲みます						
<b>安静度</b>	医師より指示が無ければ院内自由です	手術後は傷に負担がかからないようにベッド上安静です  血液循環をよくするためにスタッフと共に麻酔が覚めたら体の向きを変えたりしましょう	まずはベッド上で座ることから始めます 室内歩行開始です。順調なら病棟内歩行できます  最初はスタッフと一緒に動きましょう	院内自由です体の調子に合わせて、少しずつ歩く距離を伸ばして行きましょう  動くことで血液循環が良くなるので、少しずつ動きましょう。							
<b>清潔</b>	お風呂に入ります	手術後 適宜うがいをします 眠前 寝たまま洗面、歯磨きをします	タオルで体を拭きます 洗面のお手伝いをします	洗髪をします	尿管をいれたままシャワー浴開始です						
<b>排泄</b>	残尿がないか、管で尿をとります	手術室から尿管が入っているのでトイレに行く必要はありません	医師の指示の元、尿管を抜きます								
<b>患者様及びご家族への説明</b>	主治医より入院・治療についての説明があります 入院期間について説明します 名前確認のためにネームバンドをつけさせていただきます 弾性ストッキングのサイズを測ります 手術前までの経口補水液の説明をします 手術時の物品を確認します 麻酔科からの説明があります 入院中や退院後の生活について、心配なことがあれば相談してください	ご家族の方は手術予定時刻の1時間前に来院していただきます  手術前にストッキングをはいていただきます 手術中、必ず一人は手術室の待合室でお待ち下さい  手術後適宜訪室し、手術後の経過を観察します 痛みの強い時は対応させていただきます  手術後、医師からご家族へ手術経過について説明があります	面会時間は13:00~20:00です。		尿管を抜いた後、残尿がないか確認します 尿量を量って用紙に記入します  退院後の生活について説明をします *病状により退院日は変更することがあります  退院は午前中です						
				一日も早く元気な生活に戻れるように一緒に頑張りましょう。							

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。